

「取扱説明書」を設置前に必ずお読みください。
ご利用中もすぐに確認できる場所に保管してください。

取扱説明書

安全上の注意	安全に正しくお使いいただくために…………… 1 必ずお守りください…………… 1	安全上の注意
各部の名称とはたらき	…………… 4 5	
初期設定の手順	…………… 6	
基本機能【冷水・温水】	冷水を注ぐ・設定温度を切り替える…………… 7 温水を注ぐ・設定温度を切り替える…………… 8 9	使い方
ボトルの交換・取り扱い	…………… 10	
うれしい設定	…………… 11	
省エネモードの解除・設定……………	…………… 11	
チャイルドロック……………	…………… 12	
ロック解除短押しモード……………	…………… 12	
マナーモード……………	…………… 12	
クリーン(高温循環)機能について	…………… 13	お手入れ・点検
日常のお手入れについて	…………… 14	
お引越しのとき【水抜き方法】	…………… 15	
ご使用時の注意・点検	…………… 16	
故障かな?と思ったら	…………… 17	故障かな?
アラーム時に点滅するランプ……………	…………… 18	
puhha カスタマーセンター……………	…………… 18	
仕様	…………… 19	

品番 PH-01BD/PH-01CP

安全に正しくお使いいただくために

製品を正しくお使いいただくためや、お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するため、以下のような表示で注意を呼びかけています。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記しています。この内容は必ずお読みください。



警告



異常時の処置について

焦げ臭いとき、異常音、異常な温度を感じた場合、発煙などの異常が発生した場合には、すぐに運転を停止する。電源プラグを抜き「puhha カスタマーセンター」へご相談ください。異常なまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。



分解・修理・改造禁止

絶対にお客様ご自身で、改造・分解(修理)を行わない。思わぬ事故や故障の原因になります。



警告



気温が氷点下になる場所、発熱物の熱の影響を受ける場所には、設置しない。故障や火災の原因になります。



可燃性ガスの漏れるおそれがある場所や、シンナー等の揮発性の高い溶剤等を近くで使用しない。爆発や火災のおそれがあります。



直射日光が当たる高温多湿な場所、ほこりが多い・臭いが強い場所、不衛生な場所や屋外に設置および保管しない。水質が変化し、異味・異臭を感じたり、体調に悪影響を及ぼしたりするおそれがあります。



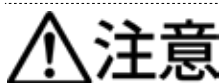
設置場所によっては、感電防止のため漏電ブレーカーを取り付ける。漏電ブレーカーの取り付けは専門業者に依頼してください。



アース工事は、最寄りの電気工事店に依頼する。また、ガス管や電話回線のアースなどに接続しない。感電・火災の原因になります。



周囲と15cm以上離して設置する。火災や故障の原因となるおそれがあります。また、冷却に時間がかかる場合があります。



注意



水平な安定した場所に設置する。ウォーターサーバーが転倒するおそれがあります。



設置後の本体移動は、電源を切ってから1時間以上経過してから行う。移動後は1時間以上経過してから、電源を入れる。また、ウォーターサーバーは45度以上傾けたり、転倒させたりしない。

必ずお守りください

警告



禁止

電源コードを束ねての使用、破損や加工、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込む、加熱するなどをしてはならない。亀裂が発生し、感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

電源プラグをウォーターサーバー背面で押しつけない。感電・火災のおそれがあります。



禁止

電源プラグは単相100V・定格15A以上の専用コンセントを使用する。日本国内専用です。



禁止

延長コードの使用やタコ足配線をしない。分岐コンセント部が発熱して発火することがあります。



必ず行う

電源プラグは確実に差し込み使用する。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。



必ず行う

電源プラグのほこりは電源プラグを抜き、乾いた布で定期的に取り除く。ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。



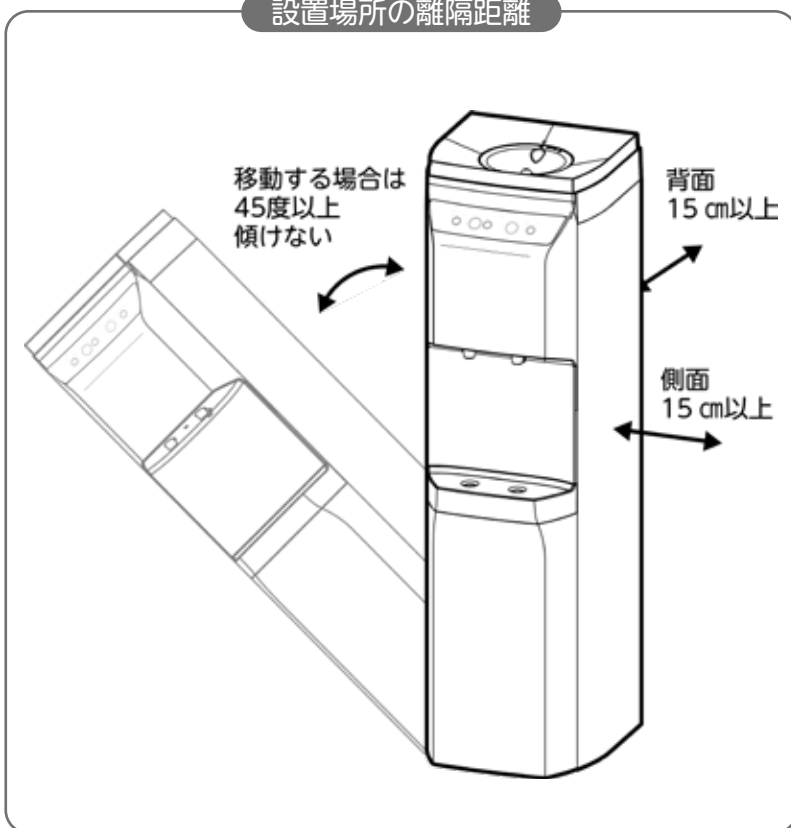
ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。感電のおそれがあります。

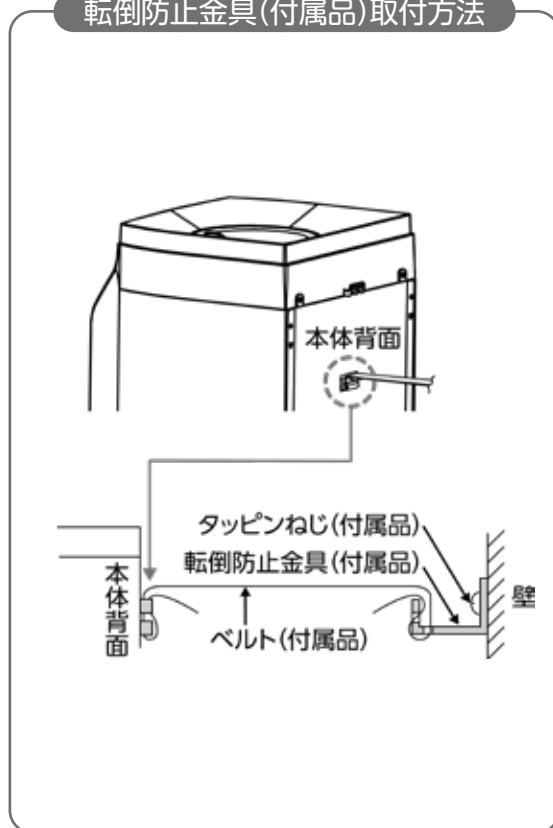
使用上の注意事項【電源について】

安全上の注意

設置場所の離隔距離



転倒防止金具(付属品)取付方法



警告



ウォーターサーバー背面部やタンクなどの、高温部に触ったり棒や指などを無理やり入れたりしない。感電ややけどのおそれがあります。



幼児や正しく操作することが困難な方が、一人で操作しないように注意する。やけどや感電のおそれがあります。



長期間(目安として2～3週間以上)使用しないまま放置しない。また、電源プラグを抜いたままや、温水ヒーターを「切」にしたまま、使用しない。水質が変化し、異味・異臭を感じたり、体調に悪影響を及ぼしたりするおそれがあります。



温水使用時や排水時は、お湯に手が触れないよう注意する。特に小さなお子様に温水の取水操作を乳幼児に見せないようにしてください。熱湯により、重篤なやけどを負う可能性があります。

注意



ウォーターサーバーの上に乗ったり、物を載せたりしない。けがや故障の原因になります。



ウォーターサーバーに水をかけない。漏電や故障の原因になります。



ボトルカバーを取り付けて使用する。取り外したまま使用すると汚れやほこりの付着の原因になります。



清潔で衛生的な状態を保つために、日常のお手入れを取扱説明書に従って行う。



温水・冷水出口部に指や棒などを差し込まない。熱湯が出てやけどをしたり、床をぬらして損害が生じたりするおそれがあります。

警告



ボトルが空の状態で使用しない。空だきとなり火災や故障の原因になります。



専用ボトル以外やボトルに他の液体を入れて使用しない。ウォーターサーバー内部の汚染や故障の原因になります。



ボトルの差込口周辺や冷水・温水の出口付近は、特に清潔に保って使用する。汚れの付着や不衛生なご使用は、臭いや雑菌発生の原因になります。

注意



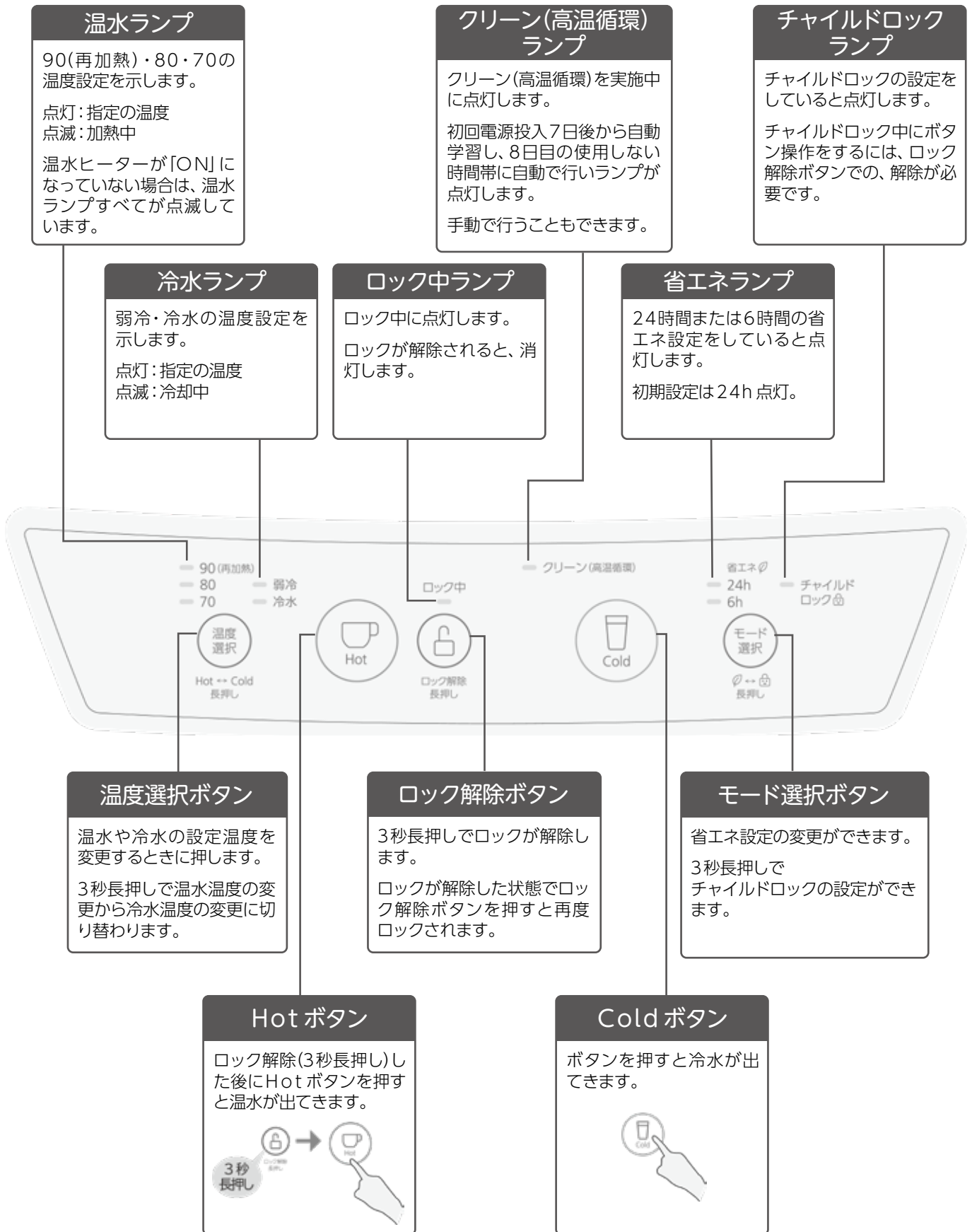
ボトル交換後はしばらく(2分程度)おいてからご使用ください。お湯が不安定に出る場合があり、やけどのおそれがあります。

使用上の注意事項【ウォーターサーバーの扱いについて】

安全上の注意

使用上の注意事項【ボトルの扱いについて】

操作パネル



各部の操作方法は、各ページの使い方をご覧ください。

各部の名称とはたらき

puhha 本体

持ち手

取水部

ボトルからpuhha 内部に
水を取り込みます。

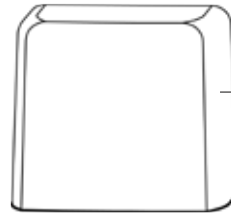
ボトルガード

ボトルを逆さまに載せて
固定する場所です。



ボトルカバー

ボトル差し込み後は、
ボトルカバーを被せてください。



ボトル差し口

puhha 専用ボトルを
シールを剥がして差し込んで
ください。

操作パネル

puhhaの
各種ボタン操作・ランプ点灯

冷水排水口

冷水出口部
(ノズルキャップ)

水受けトレイ

手前側を浮かせて引くと取り
外せます。

電源プラグ・電源コード
(機外長: 1.5m)

天上板

温水出口部
(ノズルキャップ)

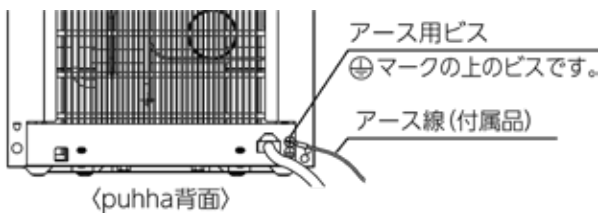
出水口ライト

「Hot」「Cold」ボタン操作で
出水時に手元を照らします。

出水口パネル

温水排水口

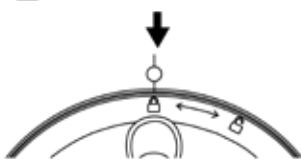
アース 取り付け位置



ボトルガードの外し方

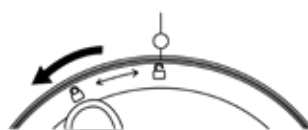
【ロックの状態】

🔒と○が合っています。



【ロック解除】

🔒と○を合わせて、ボトル
ガードを上を持ち上げます。

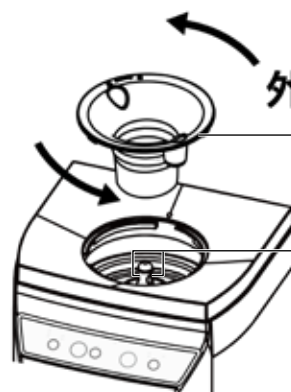


取り付けは上記とは逆の手順で行います。
ボトルガードが外れないことを確認してからボトルを差し込んで
ください。

外す

ボトルガード

取水口



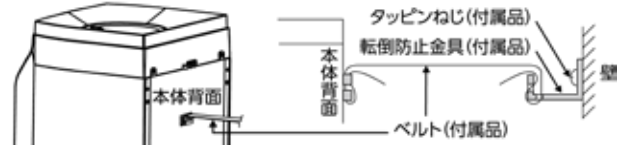
puhhaの準備

puhhaを設置

- ① 平らで安定した場所に、壁や家具から背面および左右側面を15cm以上離して設置します。(→P.2)

アース・転倒防止金具(付属品)の取り付け

- ② ①アースを取り付けます。
② 転倒防止金具(付属品)を近くの壁にタッピンネジ2本(付属品)で固定します。
③ ベルト(付属品)を右図のように取り付けます。



ボトルをボトルガード部にセット

- ③ puhhaのボトル差込口に、ボトルキャップのシールを剥した水ボトルを差し込みます。(→P.10) 満水のボトルは重いので、お取り扱いにご注意ください。

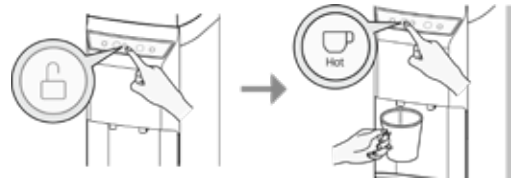
電源プラグをコンセントに差し込む

- ④ 弱冷ランプ・温水(90(再加熱)・80・70)ランプが点滅します。省エネ24hランプとロック中ランプが点灯します。



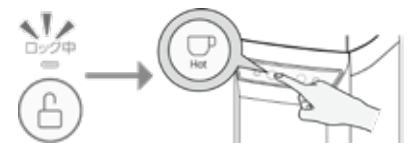
温水タンク内のエア抜き(必ず)

- ⑤ ① を3秒長押しします。ロック中ランプが消灯します。
② カップなどを用意し、温水出口から水が出てくるまで を押し続けます。



温水ヒーターをON

- ⑥ ロック中ランプが点灯中に を3秒長押しします。
温水(70)ランプがゆっくり点滅します。
※ 停電などで再通電した後は、すべての温水ランプが点滅します。再度、温水ヒーターをONにしてください。

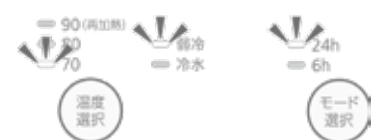


捨て水の実施

- ⑦ カップなどを用意し、温水出口・冷水出口からそれぞれ100ccほど、捨て水を行います。温水は を3秒長押ししてから、 を押します。

確認

- ⑧ ボトル付近、puhha内部および背面などより水漏れがないか確認します。温水(70)ランプ、弱冷ランプが「点灯」に変わることを確認します。
※ 温水ランプ・弱冷ランプが点灯に変わるには、30～40分かかります。
省エネ24hモードになっています。(省エネモードの変更はP.11を参照してください)



しあわせの声「ぷはあ～」まで30～40分お待ちください。

- ボトルをセットしない、または温水タンク内のエア抜きをしないまま電源を入れて長期間放置しないでください。クリーン(高温循環)学習機能(→P.13)により温水ヒーターが自動でONになった際、安全装置がはたらいてpuhhaが使用できなくなるおそれがあります。

基本機能【冷水・温水】

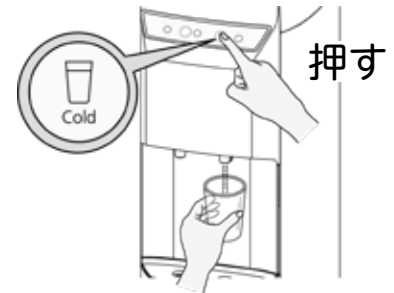
冷水を注ぐ・設定温度を切り替える


注ぐ

を押す

押している間、冷水が出ます。
また、押している間、出水口ライトが点灯します。

- ※冷水温度が40℃以上の場合、安全機能が働き冷水は出ません。
- ※グリーン(高温循環)中は、冷水を使用できません。
- ※ボトル内の水がなくなったら、できるだけ早くボトルを交換してください。



- 冷水使用中に他のボタンを押した場合は、冷水が止まります。再度、を押すと冷水が出ます。
- 必ず、コップなどの容器を持って、冷水を注いでください。
- 味や臭いに異常を感じた場合は、puhha カスタマーセンターまでご連絡ください。

弱冷にする

を3秒長押し

弱冷ランプが点滅し、そのまま5秒経過すると変更が確定します。

- ※初回設置時は、弱冷に設定されています。
- ※適温(12～16℃)で点灯し、適温以上はゆっくり点滅します。



冷水にする


を3秒長押し

を押す

弱冷ランプが点滅後に消灯します。
その後冷水ランプが点滅します。
そのまま5秒経過すると変更が確定します。

- ※適温(約6～12℃)で点灯し、適温以上はゆっくり点滅します。



- ランプの点滅中は、を押すたびに弱冷ランプと冷水ランプの点滅が切り替わります。
- 省エネ運転中に冷水に切り替えた場合は1回のみ冷却を行います。

チャイルドロック機能

冷水も温水同様、出水時のロック機能を設定することができます。
お子さまのいたずらや誤操作防止にご使用ください。

を3秒長押しし、

チャイルドロックランプが点滅から点灯に変われば設定完了

詳しくは、チャイルドロックの設定・解除(→P.12)をご覧ください。




●温水を使用するときは、やけどに注意する。特に小さなお子様には注意してください。



温水を注ぐ・設定温度を切り替える


ロック解除

 を3秒長押し

ロック中ランプが消灯し、ロックが解除されます。
出水口ライトが点灯します。



注ぐ



 を押す

押している間、温水が出ます。

※ロック中ランプ消灯後、5秒以内に押ししてください。


※使用后5秒経過すると、自動的にロック中ランプが点灯し、ロック状態になります。



- 温水を出し始めたときに、流れが細くなる場合があります。
また、温水通路に空気がたまり温水がすぐに出ない場合があります。
 を数回押すか、しばらく押し続けてください。
- 温水使用中に他のボタンを押すと、温水が止まります。もう一度、 を押すと温水が出ます。
- クリーン(高温循環)ランプ点灯中の場合でも、温水ランプが点灯すると使用できます。
- カップなどの容器は持って、温水を注いでください。
- ボトルの内の水がなくなったら、できるだけ早くボトルを交換してください。
- 停電時など、通電が止まると温水ヒーターはOFFになります。再度、温水ヒーターをONにし直してください。
- 味や臭いに異常を感じた場合は、puhha カスタマーセンターまでご連絡ください。

ロック解除短押しモード

ロック解除を短押しで解除できる機能を設定することができます。
誤操作などの心配がない場所に設置した場合に、ご使用ください。


 を“ピッピッピッ”と鳴るまで10秒長押しすれば設定完了

詳しくは、ロック解除短押しモード(→P.12)をご覧ください。

基本機能【冷水・温水】

温水を注ぐ・設定温度を切り替える

90℃（再加熱）にする

を押す

90(再加熱)ランプが点滅し、そのまま5秒経過すると変更が確定します。沸き上がるとブザーが鳴り、点滅から点灯に変わります。90℃より下がると90(再加熱)ランプが消灯し、再加熱前の温水ランプが適温以上で点灯、適温未満で点滅します。




80℃にする

を2回押す

80ランプが点滅し、そのまま5秒経過すると変更が確定します。適温以上になると80ランプは点滅から点灯に変わります。



70℃にする


を3回押す

70ランプが点滅し、そのまま5秒経過すると変更が確定します。適温以上になると70ランプは点滅から点灯に変わります。



※ランプが点滅している間は押すたびに、90(再加熱)⇒80⇒70⇒90(再加熱)…と切り替わります。

！お知らせ

- 高い温度から低い温度へ切り替えたときは、出湯温度にご注意ください。設定した温水ランプが点灯していても、切り替えた直後は設定温度より熱い温水が出ます。特に90(再加熱)ランプが点灯しているときに70℃に切り替えると、70ランプはすぐに点灯し使用できますが、温水温度は高いままです。
- 温水温度の設定は、必ず90(再加熱)から始まります。
- 90(再加熱)は1回のみ加熱を行います。温度が下がって90(再加熱)ランプが消灯した場合は再度、を押して90(再加熱)ランプが点灯してからご使用ください。
- 90(再加熱)で約400cc（カップラーメン1杯分：カップラーメンの種類によっては、温度が適さないものもあります）の高温のお湯が使用できます。
- 省エネ運転中に80に切り替えた場合は1回のみ80℃に沸き上げ、その後70(省エネ)に戻ります。
- 停電時など、通電が止まると温水ヒーターはOFFになります。再度、温水ヒーターをONにし直してください。

ボトルの交換・取り扱い

ボトル内の水がなくなったら、できるだけ早く新しいボトルに交換してください。
ボトル内の水がなくなると「温水タンク空だき防止」機能が働き、温水が使用できなくなります。
新しいボトルに交換すると、すぐにお湯が使用できます。

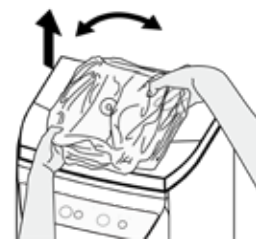
ボトルの交換・取り扱い

ボトルを抜く

空のボトルを外す

ボトルの角を持ち、左右に回しながら上に引き上げ、取り外してください。

- ※残り水、逆止弁(このページの下図)にご注意ください。
- ※「日常のお手入れ」(→P.14)をご参照いただき、取水部のお手入れを行ってください。

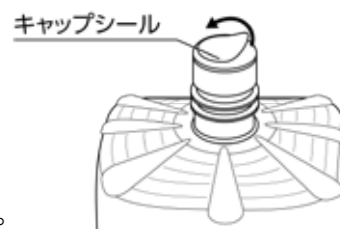


新しいボトル

キャップシールを剥がす

ボトルキャップに貼り付けてある、シールのみ剥がしてください。

- ※シールを剥がしても、ボトルを逆さまにした際に水が出ない構造になっています。

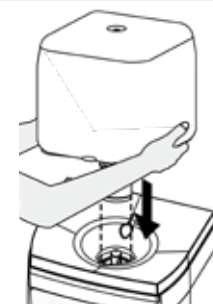


ボトル差し込み

ボトルを取水口に差し込む

ボトルを両手で持ち、取水口に垂直に差し込んでください。

- ※満水のボトルは重いので、お取り扱いにはご注意ください。
- ※ボトルを差し込む際、落下等に十分ご注意ください。



ボトルセット

ボトルをゆする

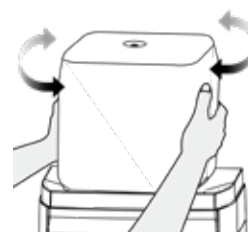


必ず行う

ボトルに両手を添え、左右に軽く2～3回ゆすってボトルの差し込みを深くなるようにします。

ボトルの四隅の角をpuhha天上板の角と合わせてください。

- ※この動作によりボトルが正しくセットされ、水漏れを防止することができます。

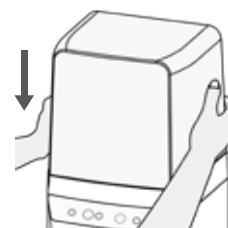


ボトルカバー

ボトルカバーを被せる

ボトルカバーを真上から被せてください。
ほこりやごみが内部に入らないように、必ずご使用ください。

- ※満水のボトルは隙間が少ないため、きついと感じる場合があります。



逆止弁が外れたら…

ボトルの中で逆止弁が外れることがあります。使用に問題はありませんので、水を最後まで出し切ってからボトルを交換してください。
途中で取り替えようとすると水が漏れます。



水が残っているが、ボトルを外したい

ボトルの逆止弁が外れていないことを確認してください。

外れていない場合は、「ボトルを抜く」を確認し、ボトルを外してください。

使い方【ボトル交換】

省エネモードの解除・設定

省エネモードは、消費電力を抑えた運転を毎日繰り返し行う機能です。
省エネ中は温水約70℃、冷水約12～16℃（弱冷）になります。

解除

 **を3回押す**

省エネランプが消灯します。
そのまま5秒経過すると設定が確定し、省エネ運転が解除されます。


※初回設置時は24時間省エネモード(24h省エネランプ点灯)に設定されています。
解除すると80℃の温水や冷水に切り替えたまま使用できます。

消灯  24h
 6h



省エネモードは、24時間または同じ時間帯で6時間の設定ができます。

24時間省エネ設定

 **を押す**


24h省エネランプが点滅し、5秒経過すると点灯に変わり設定が確定します。
70ランプ、弱冷ランプが点灯します。

※設定時に70ランプは適温以上で点灯、適温未満で点滅します。
※設定時に弱冷ランプは適温以下で点灯、適温を超えると点滅します。
※設定を変更しない限り、省エネ運転を続けます。

点灯  24h




6時間省エネ設定

 **を2回押す**

6h省エネランプが点滅し、5秒経過すると点灯に変わり設定が確定します。
70ランプ、弱冷ランプが点灯します。

※設定時に70ランプは適温以上で点灯、適温未満で点滅します。
※設定時に弱冷ランプは適温以下で点灯、適温を超えると点滅します。
※以降、毎日同じ時間帯に省エネ運転を6時間行います。

点灯  24h




※24時間または、毎日同じ時間帯で6時間、消費電力を抑えた運転をします。省エネ中は70ランプ・弱冷ランプが点灯します。


チャイルドロック

冷水も温水と同じように、ロック機能を持たせることができます。すべてのボタン操作にロック解除が必要なため、小さなお子様のいたずらや誤操作の防止に役立ちます。

設定

を3秒長押し

“ピッ”と鳴り、チャイルドロックランプが点滅し、5秒経過すると点灯に変わり設定が確定します。

すべてのボタン操作は、を3秒長押ししてから行えます。



解除

を3秒長押し “ピッ”と鳴ります。



を3秒長押し “ピッ”と鳴ります。
チャイルドロックランプが点滅します。



点滅中に を押す

チャイルドロックランプが消灯し、5秒経過すると解除します。



※停電時など、通電が止まってもチャイルドロック設定は保持されます。

ロック解除短押しモード

通常、の3秒長押しで解除するボタン操作をワンタッチで解除できる機能です。

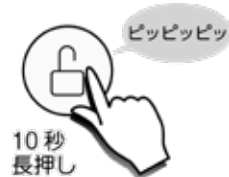
※チャイルドロック中はロック解除短押しモードの設定はできません。

設定・解除

を10秒長押し

“ピッピッピッ”と鳴り、設定が確定します。

※ロック解除短押しモードを解除する場合も同じ操作を行ってください。



※ロック解除短押しモード中にチャイルドロック設定をするとロック解除短押しモードは解除されます。(チャイルドロック優先)

※停電時など、通電が止まった場合は、再通電後にロック解除短押しモードは解除されます。

マナーモード

アラーム音を含むすべての操作音を、鳴らなくする機能です。

設定・解除

と を同時に3秒長押し

“ピッピッ”と鳴り、設定が確定します。

※マナーモードを解除する場合も同じ操作を行ってください。



※停電時など、通電が止まった場合は、再通電後にマナーモードは解除されます。

※操作音が鳴らなくなりますので、設定音確認の際は解除してからの操作をおすすめします。

クリーン(高温循環)機能について

puhhaの通水部へ自動で定期的に高温水を循環させて、クリーンな状態に保ちます

※クリーン(高温循環)は約4時間程度、puhhaを使用できません。途中で停止することはできません。

クリーン(高温循環)自動学習機能

※お客様の操作は不要です。

電源投入からのご使用状況を7日間学習し、8日目の未使用時間帯に自動的にクリーン(高温循環)を行います。2回目以降は、1回目と同じ時間帯に7日に1回行います。

※ご使用状況(未使用時間が短いなど)により、クリーン(高温循環)が行われない場合があります。

※クリーン(高温循環)が行われなかったり(クリーン(高温循環)ランプが点滅)、またはご希望ではない時間帯にクリーン(高温循環)が行われたりした場合、ご使用にならない時間帯に「**手動でクリーン(高温循環)**」をご覧ください、実施してください。

※クリーン(高温循環)は、終了まで4時間程度(夏場など室温が30℃以上のときは5時間超)かかります。

※クリーン(高温循環)ランプが点灯しているも、温水ランプが点灯していれば使用できます。

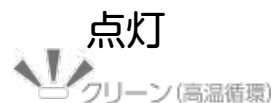
手動でクリーン(高温循環)

※クリーン(高温循環)ランプが点滅、またはご希望でない時間帯に行われた場合は、ご使用にならない時間帯に手動でクリーン(高温循環)を実施してください。

 と  を同時に3秒長押し

クリーン(高温循環)ランプが点灯し、開始します。

以後7日間経過ごと、同じ時間帯に自動でクリーン(高温循環)を実施します。



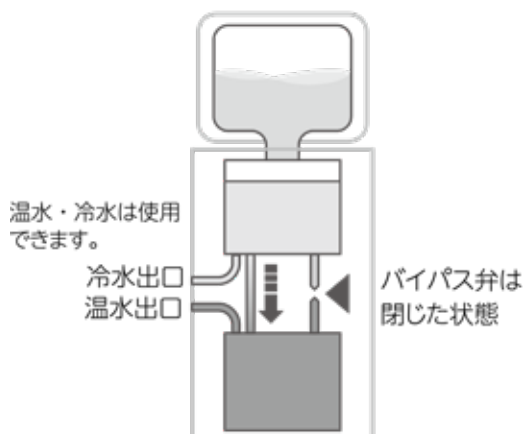
※クリーン(高温循環)は終了まで4時間程度(室温30℃以上のときは5時間超)かかります。

ご使用にならない時間帯に実施してください。

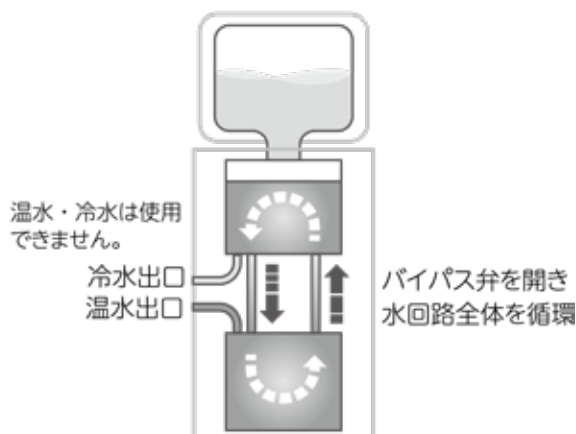
※誤ってクリーン(高温循環)を行われた場合は、一度電源プラグをコンセントから抜き、15秒以上経過後に電源プラグをコンセントに差し込んでください。適温までは時間がかかる場合があります。

クリーン(高温循環)のしくみ

通常時



クリーン(高温循環中)



日常のお手入れについて

毎日おいしくお水をご利用いただくために

puhhaの衛生管理のために、お客様ご自身で日常のお手入れを行ってください。

日常のお手入れ方法

ノズルキャップ

【外し方】

ノズルキャップを左に回してロックを外し、まっすぐ下に下ろすと外れます。

【付け方】

△マークを正面に向け、製品の切り欠きとノズルキャップの突起部を合わせ、上に押し当てながら右に回してロックします。

ノズルキャップを左に回して外し、清潔な歯ブラシや綿棒等を使用して洗います。



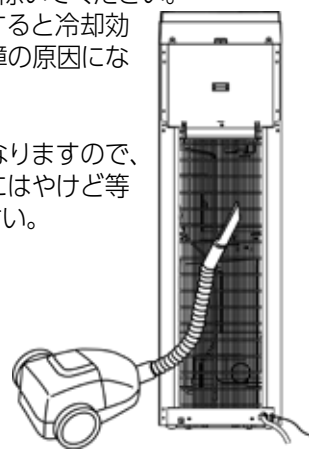
背面放熱部

電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

掃除機や柔らかなブラシを使って、定期的にはほこり等を取り除いてください。

ほこりが付着すると冷却効果が下がり故障の原因になります。

放熱部は熱くなりますので、お手入れの際にはやけど等にご注意ください。



出水口パネル

市販のアルコール除菌剤をキッチンペーパーに吹き付けます。

出水口パネルや外装部を拭き取ります。熱い湯にご注意ください。



※クレンザー・シンナー・ベンジンは変色の原因になるので使用しないでください。
※スポンジ・たわしなどは樹脂の傷の原因になるので使用しないでください。

取水部

ボトル交換ごとに毎回行ってください。

【外し方】

ボトルガードを左に回して外す。



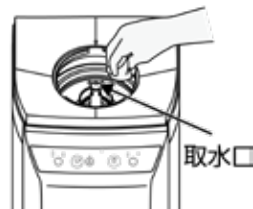
【拭き取り】

キッチンペーパーで水を拭き取る。



【除菌】

取水部・取水口を台所用アルコール除菌剤で拭き取り、乾燥させてからボトルガードを戻す。



取水口に水がたまったり、汚れを付着したままにすると、雑菌が繁殖するおそれがあります。ボトル交換ごとにお手入れしてください。

水受けトレイ


【外し方】

手前側を浮かし、引いてください。

水洗いした後、柔らかい布で水気を拭き取ってください。



お手入れ後は、機器の電源プラグをコンセントに差し、ロック解除されていないことを確認後

を3秒長押しして温水ヒーターをONにしてからご使用ください。

お引越しのとき【水抜き方法】

ボトルを取り外してもpuhha内部には、温水・冷水が約4ℓ残っています。
お引越しや移動を行うときには、水抜きを行ってください。
排水時は熱い温水が出ますので、やけど等にご注意ください。

☆お引越しの際は住所変更をお忘れなく☆ puhha カスタマーセンターへご連絡ください

準備

排水を受ける容器を用意 ボトルを外す

逆止弁が外れていないか確認してください。(→P.10)
ボトルの角を持ち、左右に回しながら上に引き上げ取り外してください。



puhhaの水抜き

① 温度選択と🔒を同時に3秒長押し

チャイルドロックランプと6h省エネランプが同時に点滅します。



② 🔒を3秒長押し

③ 🍵を押す

温水出口部から排水されます。
容器で受けてください。



④ 🍶を押す

冷水出口部から排水されます。
容器で受けてください。



⑤ 水受けトレイを外す 温水排水口を左に回し手前に引く

水受けトレイの下に温水の排水口があります。
左に回して緩め、手前に10mmほど引いて、容器に排水してください。



⑥ 冷水排水口を左に回す

冷水出口部の奥に冷水排水口があります。
左に回して緩め、容器に排水してください。



⑦ 電源プラグを抜く

排水の終了後、緩めた温水排水口・冷水排水口を締め、
電源プラグをコンセントから抜きます。

⑧ 上部を覆う

P.14のお手入れを行っていただき上部を食品用ラップなどで覆って、
ボトルカバーを被せ、ほこりやごみが入らないようにします。



※水抜き後は早めに再使用してください。
※再度ご使用になる場合は、「初期設定の手順」(→P.6)をご参照ください。

容器に注ぐときには

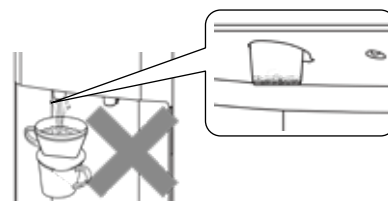
容器と出口部との間に隙間を空けて注ぐ

容器は出口部の真下で、やや距離を空けて注いでください。出口部が容器内につかってしまうと不衛生になります。

容器内にコーヒー・紅茶・焼酎・乳酸菌飲料などの原液があるときは、出口部に跳ねて付着することがありますので注意してください。

※出口部に付着した場合は「日常のお手入れ」(→P.14)をご参照ください。

出口部に汚れやカビなどが発生する原因になります。



容器

容器を手にとって注ぐ

注ぐときには、容器は手に持って注いでください。



出口部の衛生

出口部には触れない

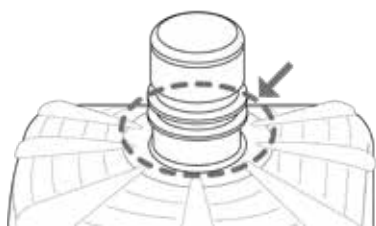
出口部に指や食品が触れると、指や食品に付着している雑菌が付着して、出口部が不衛生になります。

温水使用後は出口部が高温になっていますので、触らないよう小さいお子様などは特に注意してください。



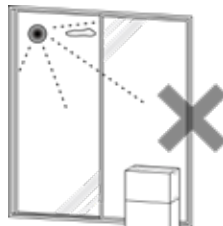
ボトルの取り扱い

賞味期限



賞味期限は、ボトルの首元に印字しています。賞味期限内であっても、開栓後はなるべく早くお飲みください。

ボトルの保管



直射日光を避け、室内で温度変化の少ない清潔な場所で保管してください。次のような場所での保管はしないでください。

- ・屋外や日当たりの良い場所
- ・ほこりっぽい場所
- ・高温多湿になる場所
- ・臭いの強い物がある場所
- ・不衛生な場所
- ・高所など、不安定な場所

使用後のボトル



- ・空になったボトルは、キャップと分別してください。
※ボトル(PET)・キャップ(ポリエチレン)お住まいの地域に従って廃棄してください。
- ・外箱のダンボールは、資源ごみとして処分してください。
- ・他の液体流入禁止
空になったボトルに他の水や液体を絶対に入れないでください。

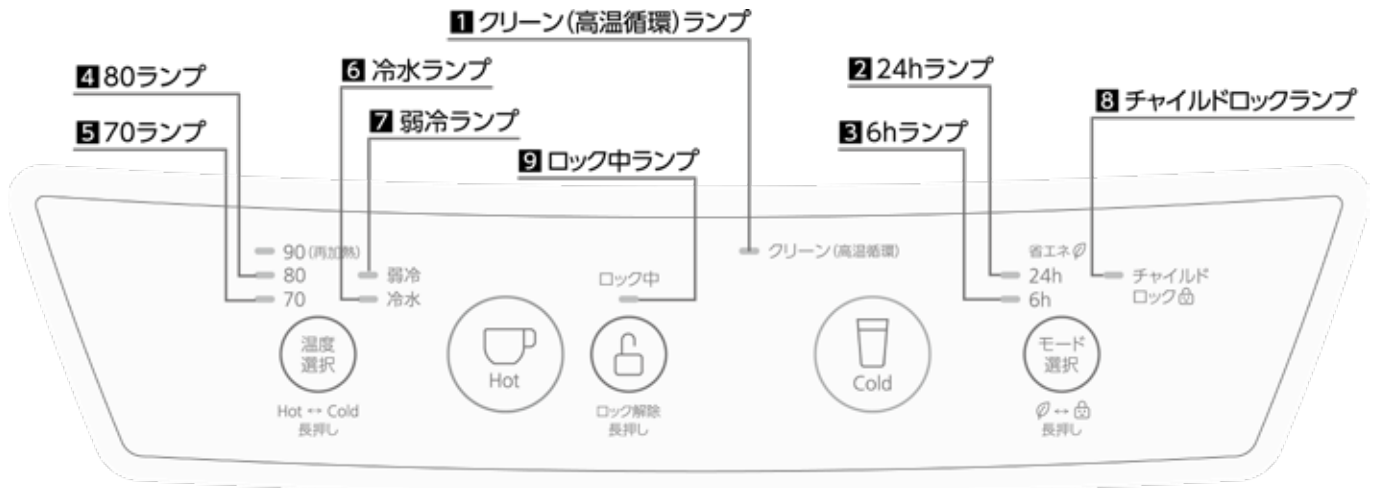
電源プラグ・水漏れの定期点検

- | | | | |
|-------------------------|-------------------------------------|---------------------------|-------------------------------------|
| ①電源コードやプラグに亀裂はありませんか？ | <input checked="" type="checkbox"/> | ④電源コードが発熱していませんか？ | <input checked="" type="checkbox"/> |
| ②ほこりが付着していませんか？ | <input checked="" type="checkbox"/> | ⑤電源コードが重いものの下敷きになっていませんか？ | <input checked="" type="checkbox"/> |
| ③確実にプラグの根元まで差し込まれていますか？ | <input checked="" type="checkbox"/> | ⑥本体底面や背面部から水漏れはないですか？ | <input checked="" type="checkbox"/> |

故障かな?と思ったら

症 状	原 因	処 置
冷水・温水が出ない	<input type="checkbox"/> 電源プラグが抜けていませんか?	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	<input type="checkbox"/> 停電または漏電ブレーカーが切れていませんか?	配電盤を点検してください。
	<input type="checkbox"/> ボトルが空になっていませんか?	ボトルを交換してください。(→P.10)
	<input type="checkbox"/> クリーン(高温循環)ランプが点灯していませんか?	故障や異常ではありません。クリーン(高温循環)中は使用できません。(→P.13)
温水が出ない (冷水は出る)	<input type="checkbox"/> 温水タンクのエアー抜きをしましたか?	エアー抜きを行ってください。(→P.6)
	<input type="checkbox"/> すべての温水ランプが点滅していませんか?	温水ヒーターをONにしてください。(→P.6)
	<input type="checkbox"/> 温水通路に空気がたまることがあります。	Hot ボタンを数回押すか、しばらく押し続けてください。
	<input type="checkbox"/> 温水の出し過ぎや加熱時間が短くないですか?	一度に大量に使用しないでください。また、時間を置いてからご使用ください。
冷水が出ない (温水は出る)	<input type="checkbox"/> チャイルドロックになっていませんか?	ロック解除してください。(→P.12)
	<input type="checkbox"/> 冷水の出し過ぎや冷却時間が短くないですか?	一度に大量に使用しないでください。また、時間を置いてからご使用ください。
	<input type="checkbox"/> 放熱部(背面)に熱気がこもっていませんか?	本体の背面に十分なスペースが空いているか、直射日光が当たっていないか、放熱部にほこりがたまっていないか確認してください。
	<input type="checkbox"/> 冷却部品が運転していません。	puhha カスタマーセンターへお問い合わせください。
水が漏れている	<input type="checkbox"/> タンク、温水・冷水出口部が破損していませんか?	水抜きを行った後(→P.15)、puhha カスタマーセンターへお問い合わせください。
	<input type="checkbox"/> ボトルの接続部が破損していませんか?	
	<input type="checkbox"/> 温水・冷水排水口が緩んでいませんか?	温水・冷水排水口を締めてください。各排水口はpuhhaの水抜き(→P.15)をご確認ください
	<input type="checkbox"/> ボトルが正しくセットされていますか?	ボトルをしっかり最後まで差し込んでください。(→P.10)
放熱部(背面)が熱い	<input type="checkbox"/> 室温が高くなっていませんか?	故障や異常ではありません。室温が高めになると放熱部が熱くなることがあります。
	<input type="checkbox"/> 本体と壁の距離が近すぎませんか?	壁に近すぎると温度が上がりやすいので15cm以上離してください。
本体からカチカチ、ピキピキという音がする	<input type="checkbox"/> 加熱・冷却する際、金属が膨張・収縮する音です。	故障や異常ではありません。
本体からビリビリという大きな音がする	<input type="checkbox"/> 冷却部品が正常に作動していない可能性があります。	puhha カスタマーセンターへお問い合わせください。
温水・冷水の使用時にペキペキという音がする	<input type="checkbox"/> 水が減ると自然にボトルがつぶれる収縮音です。	故障や異常ではありません。
操作部のランプが点灯しない	<input type="checkbox"/> 電源プラグがコンセントから抜けていませんか?	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	<input type="checkbox"/> 停電または漏電ブレーカーが切れていませんか?	配電盤を点検してください。
ボタンを押しても音が鳴らない	<input type="checkbox"/> マナーモードに設定していませんか?	マナーモードを解除してください。(→P.12) それでも音が鳴らない場合はpuhha カスタマーセンターへお問い合わせください。
冷水・温水が濁って出る	<input type="checkbox"/> 冷水・温水出口部が汚れていませんか?	冷水・温水出口部付近の確認とお手入れを行ってください。(→P.14)

アラーム時に点滅するランプ



ランプ	点滅状態	アラーム内容	処置方法
1 クリーン (高温循環)	点滅	クリーン (高温循環) 7日以上未実施	手動でクリーン (高温循環) を行ってください。(→P.13)
2 24h	3 6h	同時点滅	ボトル水 14日以上未使用 使用すれば表示が消えます。
4 80	5 70	交互点滅	温水サーミスタ断線・短絡 温水タンク空だき 温水ヒーター断線 温水ヒーター連続通電
6 冷水	7 弱冷	交互点滅	冷水サーミスタ断線・短絡 冷却部品連続通電
1 クリーン (高温循環)	8 チャイルドロック	交互点滅	クリーン (高温循環) 異常 バイパス弁故障
9 ロック中	8 チャイルドロック	交互点滅	電装基板異常
9 ロック中	1 クリーン (高温循環)	交互点滅	電磁弁駆動回路異常

ボトルの水があることを確認後、電源プラグを抜いて15秒後に入れ直し、温水ヒーターをON(→P.6)にする。

それでもアラーム表示が出る場合は、電源プラグを抜き、puhha カスタマーセンターへご連絡ください。

puhha カスタマーセンター

「故障かな?と思ったら」(→P.17～18)の内容をご確認ください。

それでも直らない場合、あるいはご不明の場合にはお客様ご自身で修理なさらず、

【puhha カスタマーセンター】へご連絡ください。

また、機器の異常・水の味や臭いに異常を感じたら、直ちにご使用を中止してください。

puhha カスタマーセンター

フリーコール

0800-500-2828

受付時間 10時～18時(年末年始除く)

仕様

名 称	ウォーターサーバー (冷温両用タイプ)	
品 番	PH-01BD-WH(ホワイト)、PH-01BD-BK(ブラック)	
定 格	単相100V(50Hz/60Hz)	
消 費 電 力	冷却125W/145W 加熱450W/450W 温水高温循環時460W/460W	
電 源 コ ー ド	機外長1.5m(2心)	
寸 法 (mm)	本 体	290(幅)×300(奥行)×995(高さ)
	ボトルカバー 装 着 時	290(幅)×300(奥行)×約1220(高さ)
質 量	約17kg	
冷 水	タンク容量	1.6ℓ
	温 度	冷水:約6℃~12℃ 弱冷:約12℃~16℃
温 水	タンク容量	1.6ℓ
	温 度	70:約65℃~75℃ 80:約82℃~86℃ 90(再加熱):約90℃~92℃
使 用 環 境	屋内5℃~35℃の環境下でご使用ください	

※冷水・温水の温度は、機器出口の温度です。設置環境や使用状況により若干異なります。

※製品の仕様は、製品改良に伴い予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。

事業者

プレミアムウォーター-富士株式会社

山梨県富士吉田市上吉田 4597-1